



# ちようふ

CONTENTS(主な内容)

新型コロナウイルスワクチン接種	2
災害への備えはできていますか?	3
特集「行ってみよう! 神代植物公園」	8・9
地域文化祭	10
第39回調布市民スポーツまつり	16

発行: 調布市 (毎月5日・20日発行) 所在地: 〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1 ☎042-481-7111  
 編集: 行政経営部広報課 市ホームページ: <https://www.city.chofu.tokyo.jp/>

市報ちようふの配布に関する問い合わせは  
 市報ちようふ配布コールセンター  
 ☎050-5357-9679 へ

問産業振興課☎481-7185

## 調布市でPayPay!

### 最大20%戻ってくるキャンペーン

**期間 11月1日(月)~12月28日(火)**

新型コロナウイルス感染症に伴う影響が長期化する中、市民生活支援と地域経済の活性化と併せて、キャッシュレス決済の普及促進を目的に実施します。

市内対象店舗で、キャッシュレス決済サービス「PayPay」で支払うと、後日決済金額の最大20%のポイントが戻ってくるキャンペーンです。

※キャンペーンの内容は変更になる場合あり

**ポイント付与率**  
決済金額の最大20%

**ポイント付与上限**  
1決済で3000円相当、  
1カ月で合計2万円相当まで

**対象の支払方法**  
PayPay残高、あと払い(一括のみ)  
※クレジットカードの登録による支払いは対象外  
(ただし、ヤフーカードのみ対象)

**対象店舗**  
市内中小規模のPayPay加盟店(大手事業者など一部店舗は対象外)

### 調布のお店を 応援しよう

戻ってきたポイントも  
使えるよ!



「映画のまち調布」  
応援キャラクター ガチョラ  
©角川大映スタジオ

**利用には、  
アプリを  
ダウンロードする  
必要あり**

このポスターが  
対象店舗の目印!

PayPayの詳細は2面をご覧ください →

手をつなぐ樹 393

10月の木権

若い人には信じられないだろうが、今から半世紀以上前の昭和30年代から40年代の日本においては、各テレビ局にドラマを自主制作する能力がまだ十分には備わっておらず、その代替としてゴールデンタイムに極めて多くのアメリカのテレビ映画が放映されていた。

多かったのは西部劇、刑事ものやホームドラマだったが、一時期、病院における療養を通じた人道的なメデイカルドラマが流行ったことがある。その代表作「ベン・ケーシー」の中で不治の病に侵された患者がこのように述懐する場面があった。「人間は生きていてだけでこんなに幸せなんだ」。人は日々の営みに忙殺される中で、ともすれば大切なことに思いが至らないままに時を過ぎてしまいがちだ。

10月に入ったというのに、木権の花が咲き誇っていることにふと気がついた。目に突き刺さるような厳しい夏の盛りや陽光の時期にも、その鮮やかな花弁の色合いが我々に心の安らぎを与えてくれていたはずだが、今年には正直言ってあまりそのような強い印象がない。今からわずか2カ月前には、東京都のコロナ感染者がなんと連日5000人を超えていたのだ。

コロナに関してはまだまだ、喉元過ぎて熱さを忘れるというわけにはいかないが、秋の深まりとともに季節が移ろう情景を目のあたりにして心底癒されるそんな瞬間を大切にしていきたいと思ふ。

調布市長  
友友貴樹